

東京都縮尺2,500分の1ベクトル地形図 超GIS 東京デジタルミュージアムバージョン5

この製品は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を使用して作成したものです。
(承認番号) 14都市基交第156号

高精度マッピング・GIS・オルソ統合ツール Windows Xp, Vista, 7

東京デジタルミュージアムバージョン5は、東京23区と北多摩、南多摩、西多摩の全市町村を対象として、行政単位での高精度エリアマッピングとGISの双方を作成できるプログラムを構築いたします。東京23区のようにオルソフォトがある場合(日本地図センター発売のCD)には、ベクター地形図とオルソフォトの重ね合わせ表示ができ、より強力なシステムとなります。それぞれ単独の表示も勿論可能です。エリアマッピングは高精度な基図をベースに、線や面図形と関連付けられた属性を一括して管理するもので、上下水道や電気、ガス等の施設図、地下埋設物の管理、公園や福祉施設の管理等に供されます。GISはポリゴン単位のデータの加工や解析を行うもので、町丁目単位の属性データベースとの連動により、データの演算・加工からランキングの実行やランクマップの作成が行えます。

行政単位でのビューの実現のため「東京都縮尺2,500の1地形図」の全レイヤは行政単位、つまり指定された区および市町村を包含する図郭で構成されます。東京デジタルミュージアムバージョン5はまた、ブラウザ機能と正確な縮尺の印刷、地図データの加工、更にはユーザの皆様が自由なGISを、なかば自動的に構築できることに主眼を置いた、「超」GISプログラムです。地形図データはDMのみならずユーザデータも含めて、クリップボードや拡張メタファイル(EMF)、EPSファイルで出力でき、デザインやCADに活用できます。また、基本機能として、DMの建物や線データの仮削除や、ユーザが代替建物や線データを入力できる機能、あるいは建物に付随する注記や地図記号の仮削除や代替注記や地図記号を入力できる機能があります。さらに各種の面形状(公園、地域や家形等)線形状データ、注記・記号および注記の囲み図形、さまざまなシンボル等を自由に作成・入力できるユーザマップ機能を持っています。その上、属性データベースと連動した2000種の主題を扱うカテゴリーマップ機能と相俟って、高度なGISが構築できます。

東京デジタルミュージアムバージョン5で使用されているDM地形図は「東京23区が平成9・10年、北多摩が平成10年、南多摩が平成11年、西多摩が平成12年」に取得されたものですが、世界測地系の図郭割りにより再構成され、東京都の最新のDM地形図を購入(東京デジタルマップ株式会社が販売)すれば、図郭毎に最新の状態に置換・維持することができるようになっています。

GISコンストラクター

東京都縮尺2,500分の1ベクター地形図の区や市町村を構成単位としたブラウザです。デジタルマッピング(DM)の全レイヤ、全項目をオン/オフ表示できます。レイヤは行政区界、建物及び付属物、等高線・地形等12レイヤ、195項目です。DMの建物や注記、地図記号、線データが個別に削除できます。また建物や注記、点・線データの新規入力が行えDMのデータと同様の扱いができます。

建物は面構成しておりますので個別に色塗り、ハッチができ、面積や周長も自動表示されます。

任意の縮尺で正確な地図が印刷できます。(市販の2,500分の1白地図と同様の地図が印刷できます)

オルソフォトがある場合には、ベクター地形図とオルソフォトの重ね合わせ表示や、それぞれ単独の表示も可能です。

面形状(公園や地域、家形等)線状(矢線や点線)データや注記・記号、囲み図形さらにはユーザが作成したシンボルが自由にユーザマップとして入力・修正・表示できます。注記やシンボルは大きさや向き、色が自由に変わります。

区や市町村毎に字や町丁目の属性データベースが作成できランクマップが表示・印刷できます。

カテゴリーマップ機能によりGISを構築できます。カテゴリは2000種の主題を扱えます。データベースはエクセルと連動して検索・表示できます。

表示画面を切り出してクリップボードから他のソフトで利用できます。また、拡張メタファイル(EMF)を直接作れますので、ワードやエクセルで縮尺指定の高精細の地図が利用できます。地図データがポストスクリプト(EPSファイル)出力でき、デザイン、CADに活用できます。EMFやEPSファイルは画面が回転した状態でも、回転後の座標で作成できます。

DMに対応したオルソフォトがある場合、DM地形図とオルソフォトの重ね合わせ表示(オルソのみの表示/DMのみの表示も勿論可能)ができ、地図を任意の縮尺で印刷、拡張メタファイル(EMF)の作成、さまざまなソフトに利用できます。

動作環境
OS: Windows Xp, Vista, 7
CPU: Pentium 300MHz以上を推奨
ディスプレイ: 1024x768ドット以上を推奨

メモリ: 128MB以上を推奨

東京デジタルミュージアムバージョン5はUSBメモリで提供されますのでインストールは不要です。

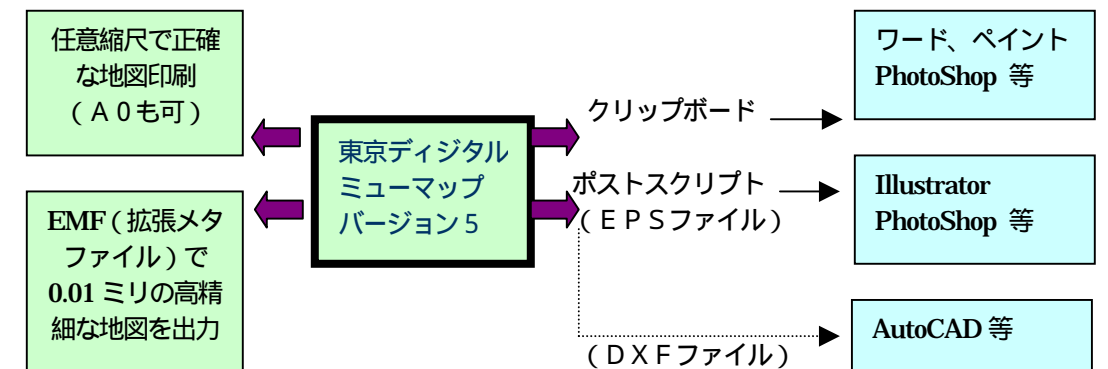
データ取得年

東京23区: 平成9・10年
北多摩: 平成10年
南多摩: 平成11年
西多摩: 平成12年

東京デジタルミュージアムバージョン5

EPS/拡張メタファイル/DXF変換

デジタルマッピング(DM)のデータ
がデザインやCADで使える!



*地形データをDXF変換して使用する場合は、別にアドオンソフトが必要です。

- ・Windowsは米マイクロソフト社の登録商標です。ワード、ペイント、エクセルは米マイクロソフト社の商品名称です。
- ・Illustrator、PhotoShopは米アドビシステムズ社の登録商標です。
- ・AutoCADは米オートデスク社の登録商標です。

【東京デジタルミュージアムバージョン5の特性について】

東京デジタルミュージアムバージョン5には以下のような特性があります。平成20年4月に、国土院のサイトより開始された「基盤地図情報ダウンロードサービス」に、現在世田谷区の新しい地形データが提供されていて、今後、他の市区町村の地形データの提供も予想されます。基盤地図情報は各種の地形データから成りますが、特筆すべきは白地図つまり都市計画基図と呼称される1:2500デジタルマッピング地形図をベースに作られた地形データを含んでいる、ということです。これらは市区町村の単位の図郭で整備されていて、ミュージアムのデータ構成によく整合します。東京デジタルミュージアムバージョン5では、既存の地形データの上に、これらの家屋の形状や道路線、街区の境界線、水涯線、軌道の中心線等を新しい地形データで置き換える機能を含ませました。これにより、「基盤地図情報ダウンロードサービス」が提供される地域ではデータ更新がユーザの皆様の手で自由に実行できるようになります。

区や市町村毎の高精度エリアマッピングとGISが容易に作れる!

東京デジタルミュージアムバージョン5でのGIS/マッピングの具体的な例を示します。

区や市町村単位に「東京都縮尺2,500の1地形図」の全レイヤが行政単位に図郭構成されます。

オルソフォトがある場合には、ベクター地形図とオルソフォトの重ね合わせ表示ができ、より強力なGISシステムとなります。それぞれ単独の表示も勿論可能です。

区や市町村に対し町丁目毎の属性データベースをランキングしランクマップを表示できます。ランクマップとDM(デジタルマッピング)の地形図は重畳表示できます。

市町村の飛び地等につきましては、飛び地で切り取られる側ではランクマップの対象からは外され、飛び地を有する側ではランクマップの対象となります。

海部で字界や町丁目界が未確定の地域では、仮の境界線でランクマップ表示しておりますことをご承知おきください。

区や市町村単位に線や面図形、シンボルを入力でき、図形と関連付けられた属性を一括して管理できます。マッピングの図形および面図形と関連付けられた属性の表示では断面図や写真、図面も表示できます。

各種地図を作成するための地図レイヤとして、面データ、線データ、シンボルデータが属性データベースと連動でき、注記や注記の囲み記号は付加的なレイヤとして地図上から自由に設定できます。

東京デジタルミュージアムは「面」認識を主体とした、トポロジー構造を持った高度なGISシステムで、弊社で自社開発いたしましたGISツールAMIにより開発されています。

URL = <http://www.mues.co.jp>

価格: 38,000円+税

弊社では地理情報システムの骨格となるアルゴリズムに関して独自の的方法論を編み出し、特許を取得しております。
[特許第3340816号]

ミュース株式会社 〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿2-14-19
Tel: 03-3446-8456 Fax: 03-3446-8073

E-mail: info@mues.co.jp

Mues